

新技術活用促進に関するアンケートの集計結果

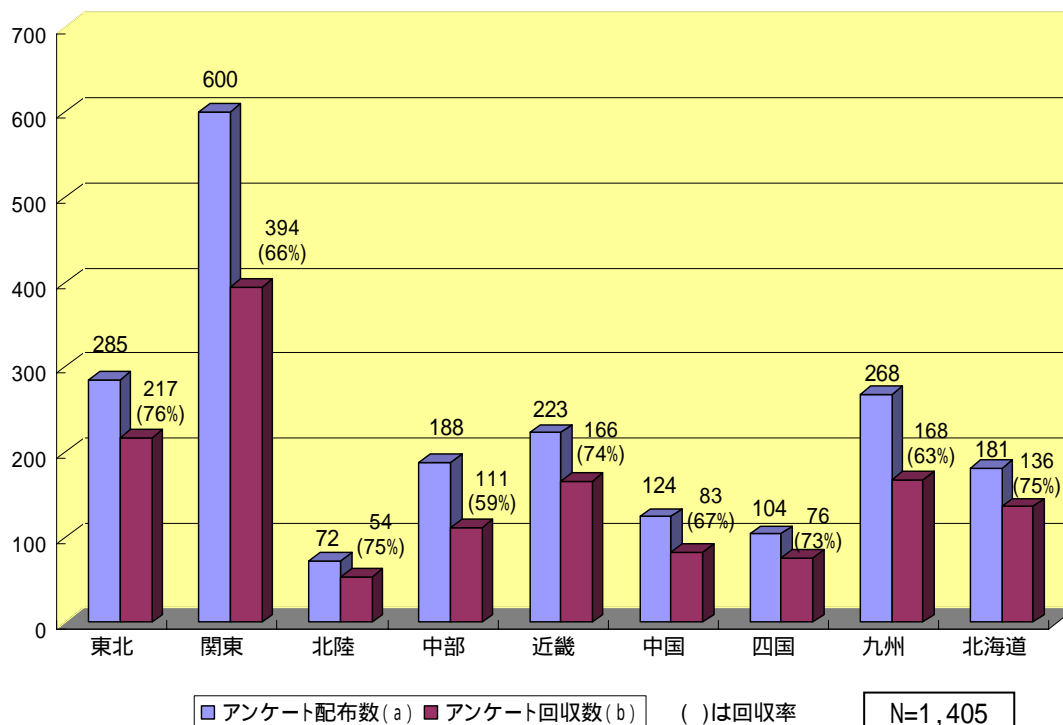
国土交通省では、「新技術活用促進システム」を平成 18 年 8 月から本格運用しているところですが、更なる新技術の導入促進を図り良質な社会資本整備を効率的に整備していくためには、地方公共団体と連携を強化することが必要であると考え、地方公共団体における新技術の取り組み状況等を踏まえた今後のあり方の検討に反映するため、平成 18 年 9 月に「公共工事等の新技術活用促進に関するアンケート」を実施しました。

また、アンケート調査結果は、平成 18 年 11 月 27 日に開催致しました「建設新技術活用促進フォーラム」の建設新技術活用促進を考えるワークショップにおきましても活用させて頂き、参加者の方々から活発なご意見を頂いたところです。

今回のアンケート調査は、地方公共団体の新技術担当の方々にご協力を頂いたものですが、ご協力を頂いた皆様方には心からお礼申し上げます。

アンケート回収率

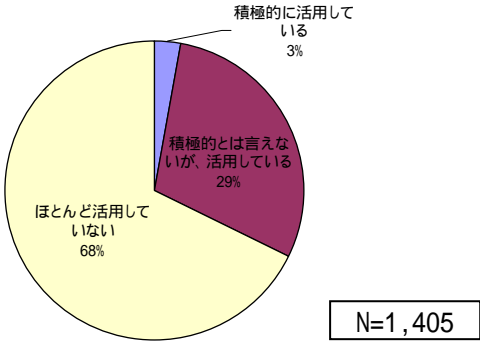
地方公共団体の新技術担当者にアンケートを実施。回収率は全体の約 7 割。
(配布数 2,045、回収数 1,405)



新技術の活用度について

問．貴自治体では、新技術を積極的に活用していますか？

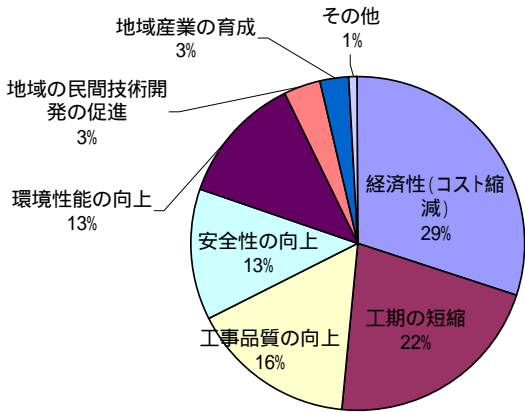
工事等の発注及び施工に際して、「新技術を積極的に採用している」、又は「積極的とはいえませんが活用している」は、約3割。



新技術の活用の際に期待する効果について

問．どのような効果を期待して新技術を活用しますか？（選択式，複数回答可）

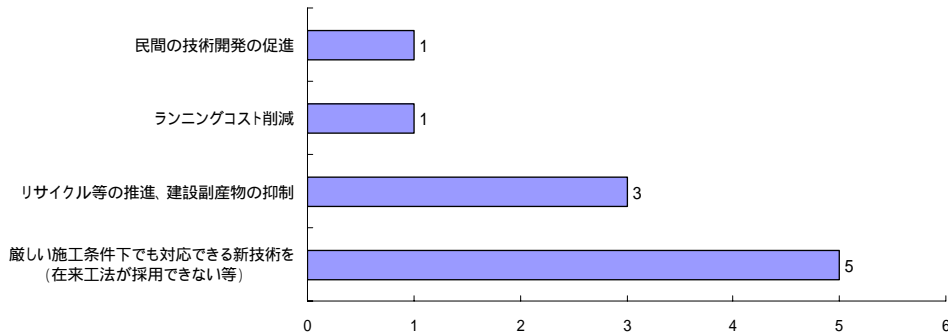
「経済性」、「工期短縮」、「工事品質の向上」への期待が多く、この3つで約7割。



N= 1 ,392

問．前述の設問で「その他」の場合、具体的に期待する効果は何ですか？
（自由回答）

「**在来工法が採用できないなど、厳しい施工条件下でも対応できる新技術を求める**」が5回答。

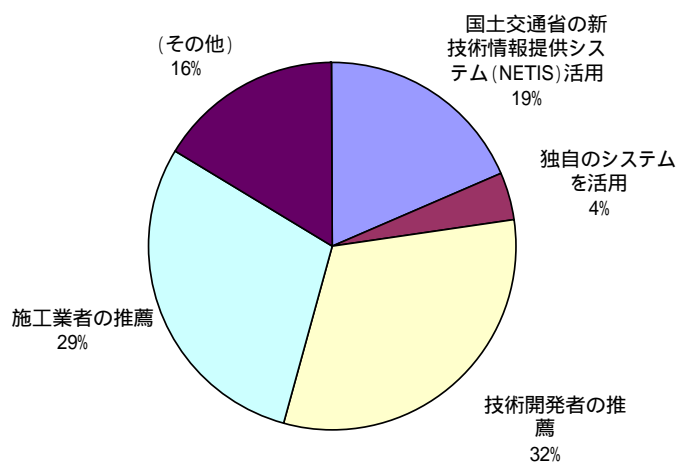


N=10

新技術の活用の際の情報入手方法について

問．新技術の活用之际して、どのようにして情報を入手しますか？
（選択式）

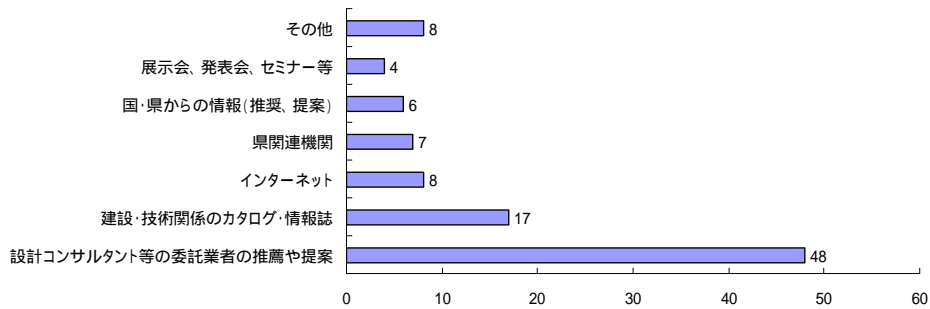
「**技術開発者の推薦**」、「**施工業者の推薦**」で約6割を超え、「**NETISの活用**」は約2割。



N=598

問．前述の設問で「その他」の場合、具体的にどのような方法ですか？
（自由回答）

「設計コンサルタント等の委託業者の推薦や提案」が48回答。

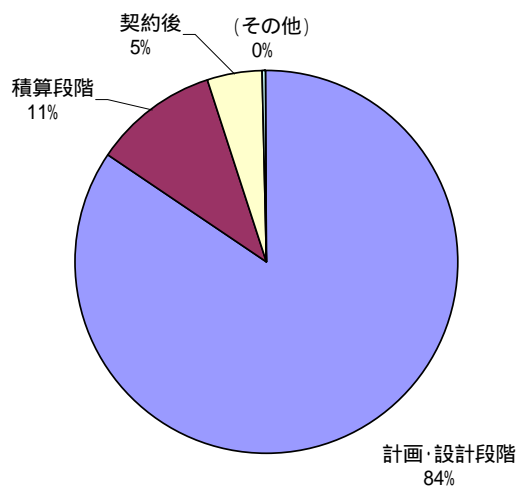


N=98

新技術の導入を検討する段階について

問．主にどのような段階で新技術の導入を検討しますか？
（選択式）

計画・設計段階の早い段階からの導入を検討しているが約8割。

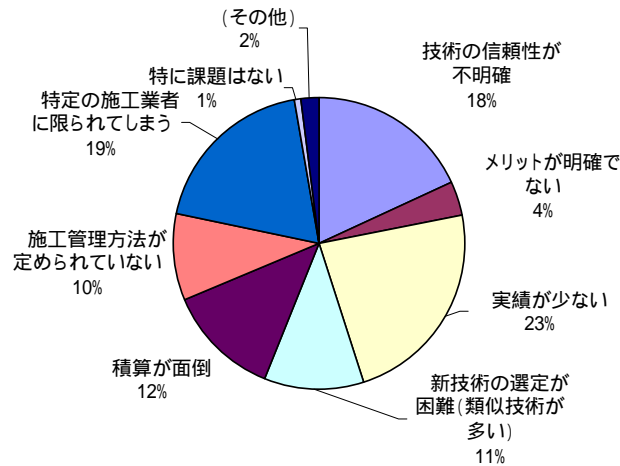


N=441

新技術の活用促進にあたっての課題について

問．新技術をさらに活用していくうえでの課題はありますか？
（選択式、複数回答可）

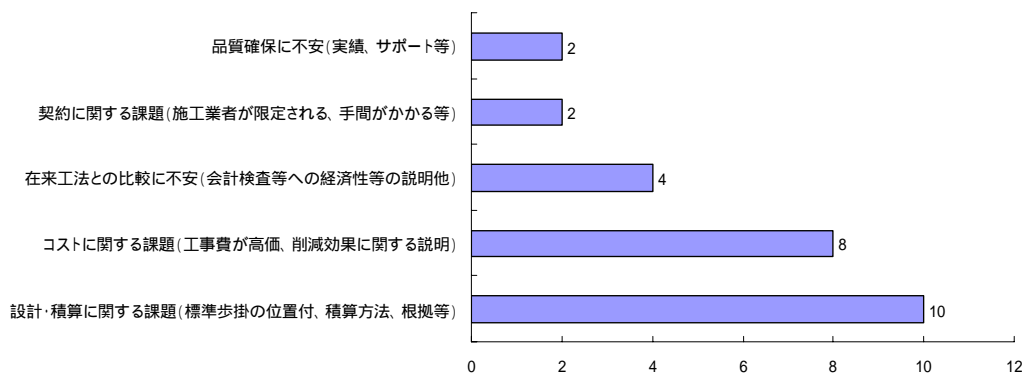
「実績が少ない」、「特定の施工業者に限られてしまう」、「技術の信頼性が不明確」といった回答が多く、次いで、「類似技術が多く選定が困難」となっている。



N=1,305

問．上記設問で「その他」の場合、具体的にどのような課題ですか？
（自由回答）

「設計・積算に関する課題（標準歩掛の位置付、積算方法、根拠等）」、「コストに関する課題（工事費が高価、削減効果に関する説明）」が多い。



N=26

新技術を積極的に活用しない理由について

問．新技術を積極的に活用しない主な理由は何ですか？
（選択式、複数回答可）

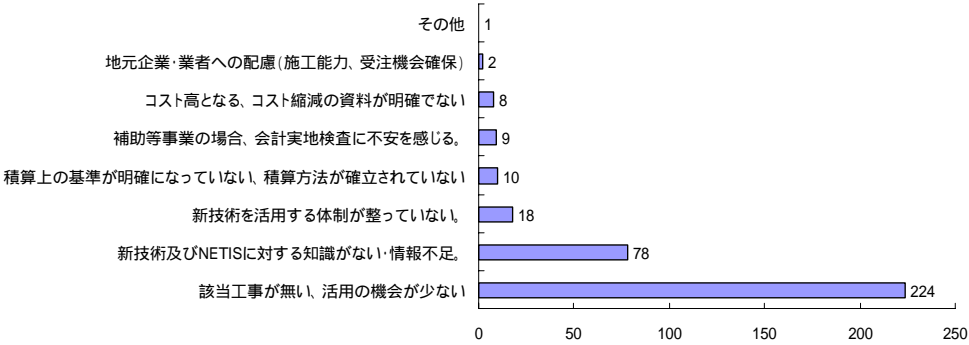
「実績が少ない」、「特定の施工業者に限られてしまう」、「技術の信頼性が不明確」といった回答が多く、次いで、「類似技術が多く選定が困難」となっている。



N=2,056

問．上記設問で「その他」の場合、具体的にどのような理由ですか？
（自由回答）

「該当工事が無い、活用の機会が少ない」が多く、次いで、「新技術及びNETISに対する知識がない・情報不足」となっている。



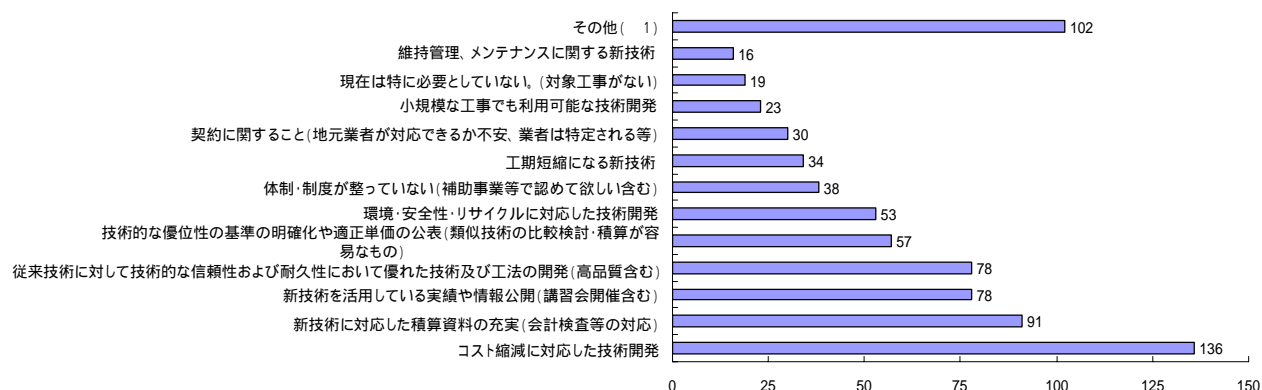
N=350

新技術の開発に寄せる期待、新技術の活用促進にあたり困っていることについて

問. 新技術としてどのような開発を期待していますか？また、新技術の活用促進について困っていることはありますか？

(自由回答)

「コスト縮減に対応した技術開発」が多く、次いで、「新技術に対応した積算資料の充実(会計検査等の対応)」、「新技術を活用している実績や情報公開(講習会開催含む)」、「従来技術に対して技術的な信頼性および耐久性において優れた技術及び工法の開発(高品質含む)」と続く。



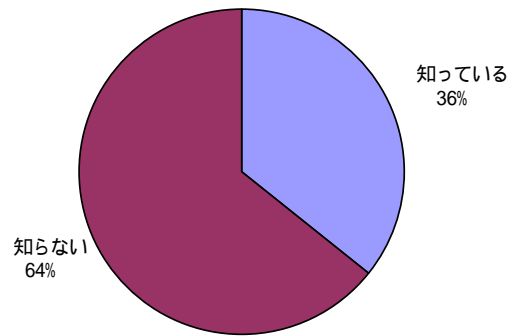
1 「特になし」やその他少数意見。

N=755

国土交通省の取り組みに対する認知度について

問．国土交通省の「新技術活用促進システム」又は新技術情報提供システム（NETIS）をご存じですか？（選択式）

「知っている」の回答は約4割。

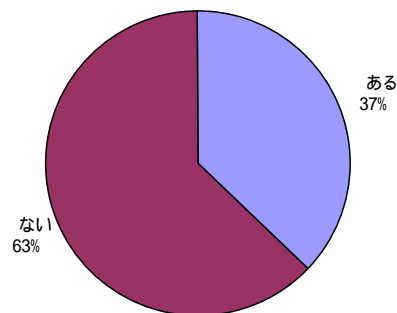


N=1,405

NETIS の利用経験について

問．国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）を使って、新技術の情報を入手したことがありますか？（選択式）

「ある」の回答は約4割。

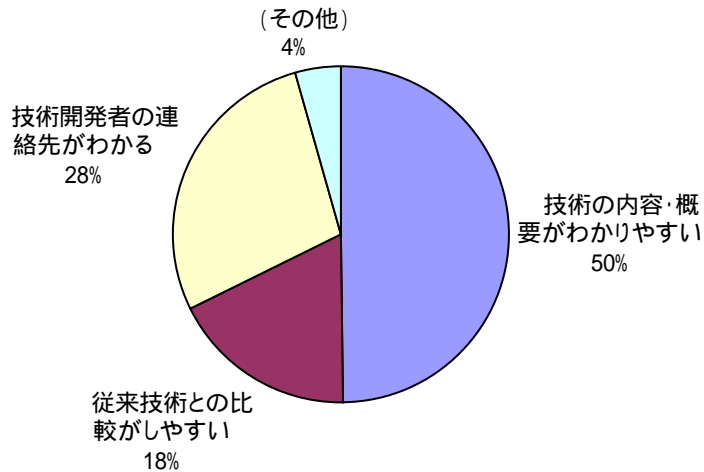


N=502

NETIS の良い点について

問．国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）を使ってみて、良かった点は何ですか？（選択式、複数回答可）

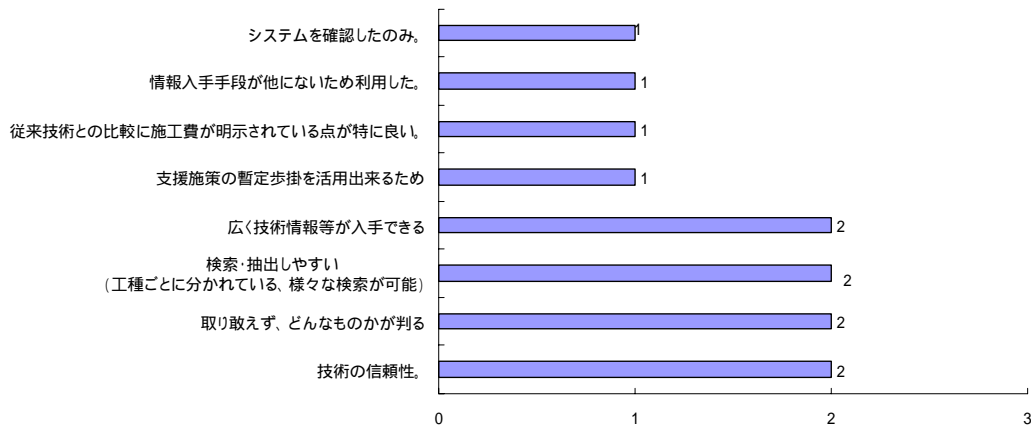
「技術の内容・概要が分かりやすい」との評価が約5割。



N=277

問．上記設問で「その他」の場合、具体的にどのような点ですか？（自由回答）

「技術の信頼性」、「取り敢えず、どんなものかが判る」、「検索・抽出しやすい」、「広く技術情報等が入手できる」など。

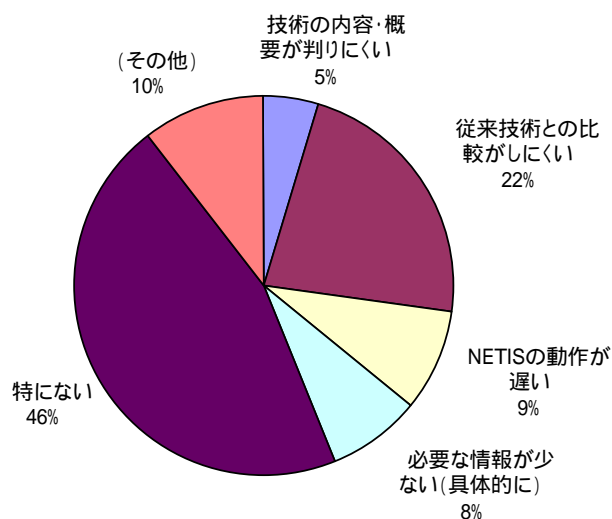


N=12

NETIS のわかりにくい点について

問．国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）を使ってみて、わかりにくかった点は何ですか？（選択式、複数回答可）

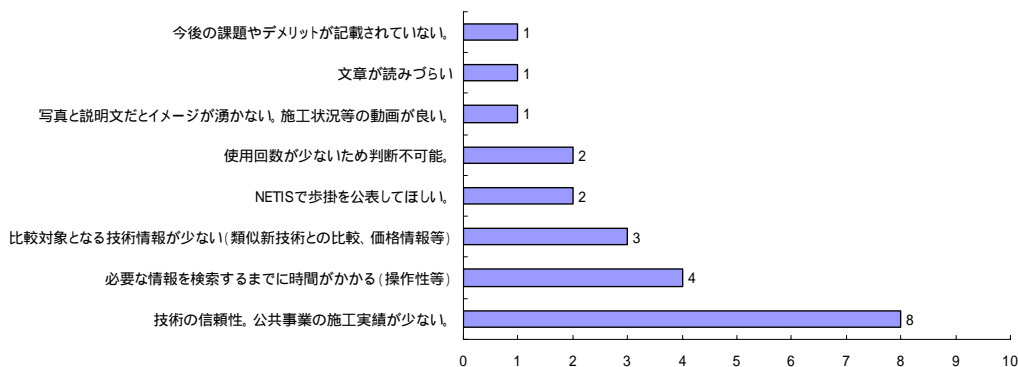
「従来技術との比較がしにくい」、「NETISの動作が遅い」、「必要な情報が少ない（具体的に）」との評価が約4割。



N=210

問．上記設問で「その他」の場合、具体的にどのような点ですか？（自由回答）

「技術の信頼性。公共事業の施工実績が少ない。」という技術そのものに関する意見が多く、「必要な情報を検索するまでに時間がかかる（操作性等）」などを指摘。

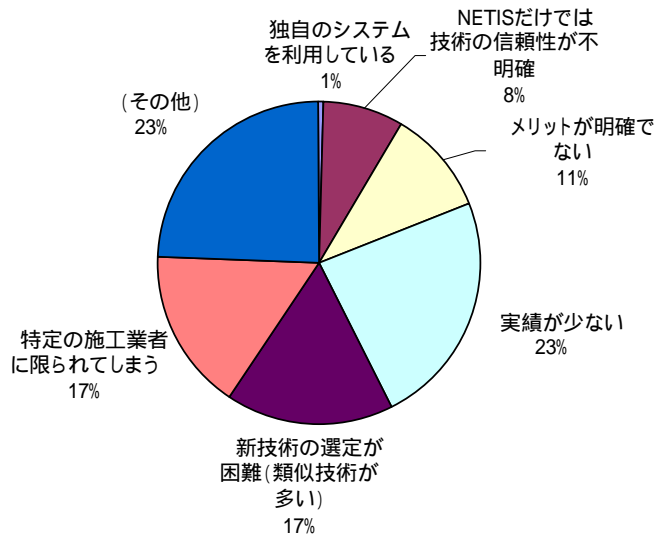


N=22

NETIS を使わない理由について

問 . 国土交通省の新技术情報提供システム (NETIS) を使わない理由は何ですか？
(選択式)

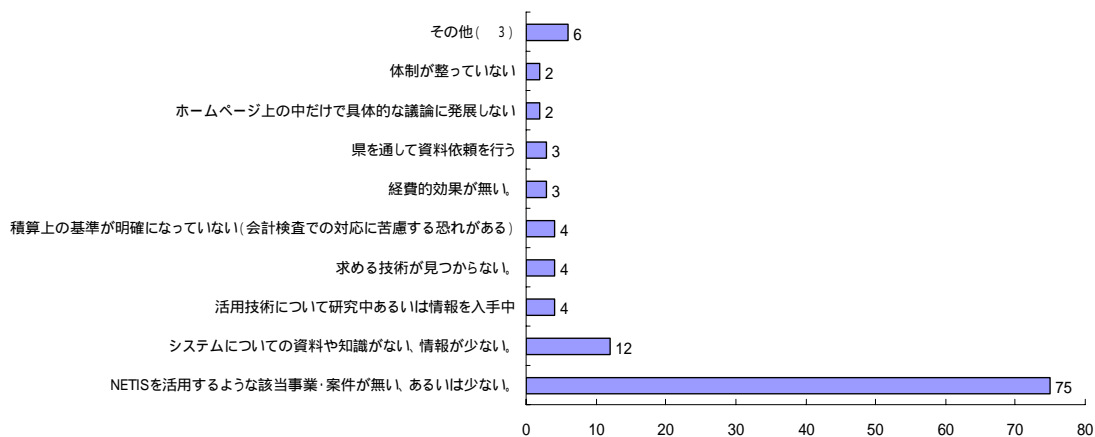
「実績が少ない」、「新技术の選定が困難」、「特定の施工業者に限られてしまう」との回答がそれぞれ約 2 割。



N=472

問 . 上記設問で「その他」の場合、具体的にどのような理由ですか？
(自由回答)

- 「NETIS を活用するような該当事業・案件が無い、あるいは少ない。」の回答が多い。



3 「特になし」やその他少数意見。

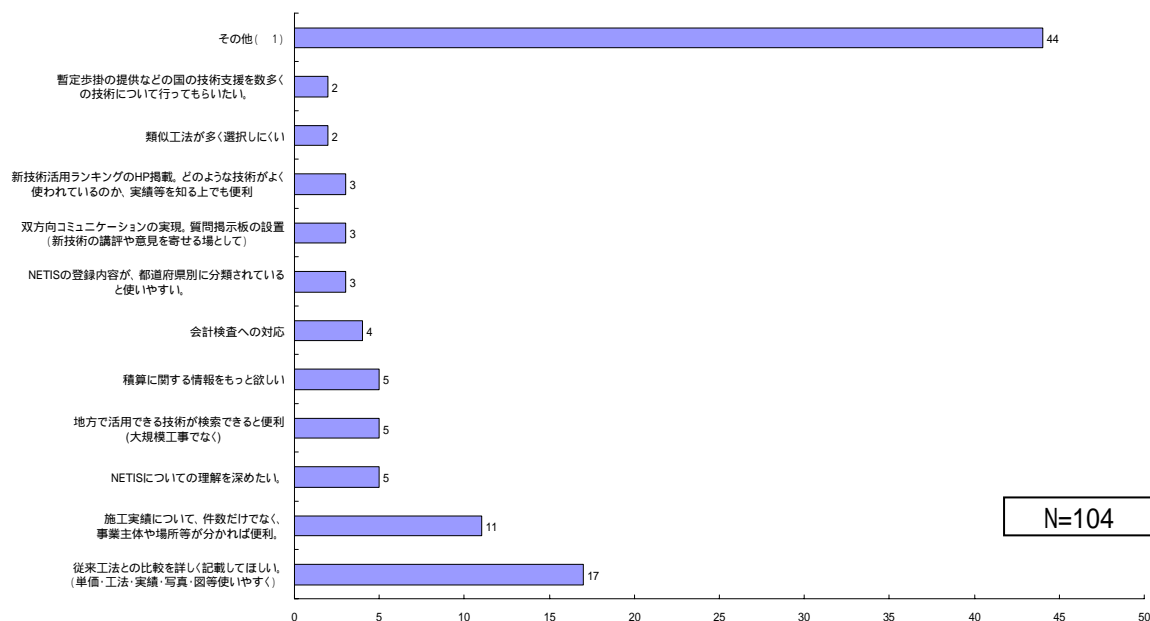
N=115

NETISに関する課題、提案、要望等について

問．技術情報提供システム（NETIS）を活用するうえでの課題やご提案、支援施策の要望等をお聞かせください。

（自由回答）

「従来工法との比較を詳しく記載してほしい。（単価・工法・実績・写真・図等使いやすく）」が多く、次いで、「施工実績について、件数だけでなく、事業主体や場所等が分かれば便利。」

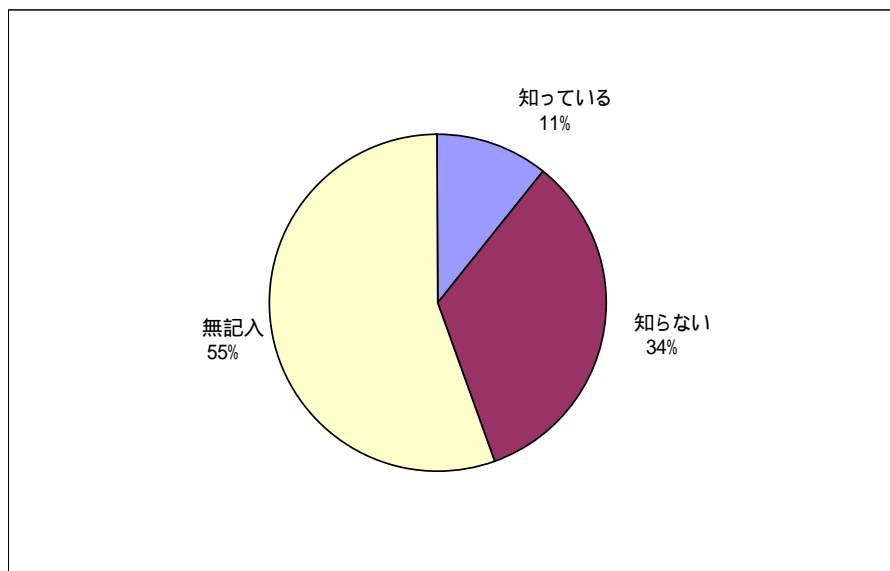


1 「特になし」やその他少数意見。

活用支援資料について

問 . 国土交通省では、新技術活用促進における支援施策として、活用支援資料(暫定歩掛、特記仕様書作成例及び施工管理基準(案)) を整理し、発注の際や現場管理の際に運用しています。これについて、ご存じですか？ (選択式)

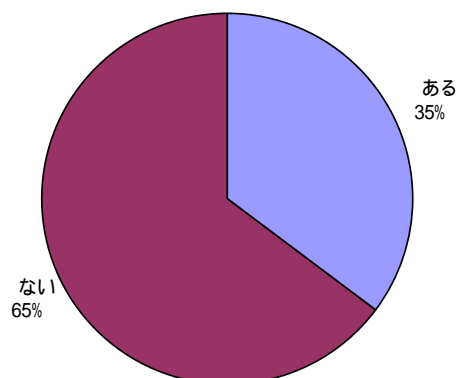
「知っている」の回答は約1割。



N=1,405

問 . 活用支援資料(暫定歩掛、特記仕様書作成例及び施工管理基準(案)) を使ったことがありますか？ (選択式)

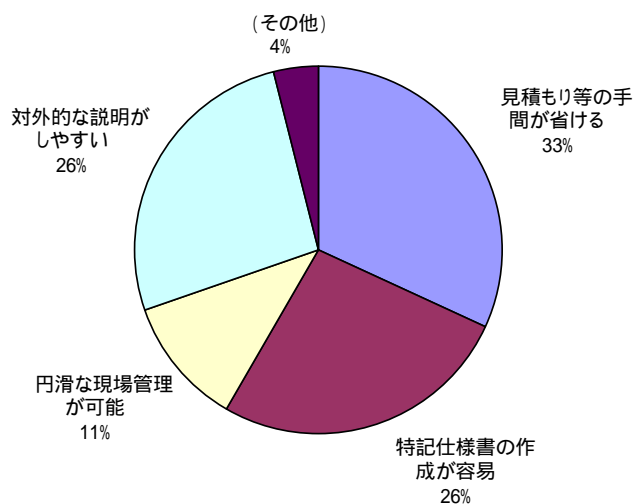
「使ったことがある」が約4割。



N=153

問．活用支援資料（暫定歩掛、特記仕様書作成例及び施工管理基準（案））を使うメリットは何ですか？（選択式、2つまで選択可）

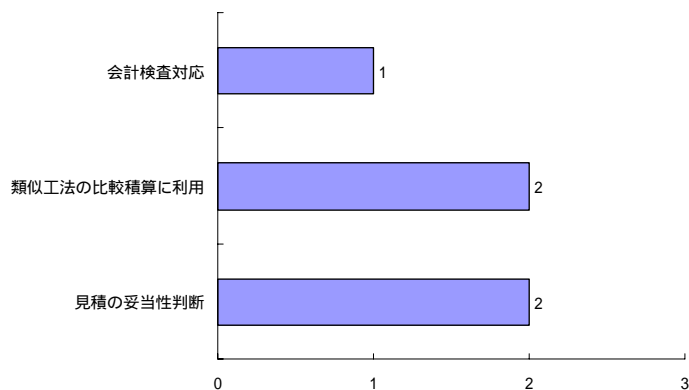
「見積もり等の手間が省ける」、「特記仕様書の作成が容易」、「対外的な説明がしやすい」がそれぞれ約3割。



N=125

問．上記設問で「その他」の場合、具体的にどのようなメリットですか？（自由回答）

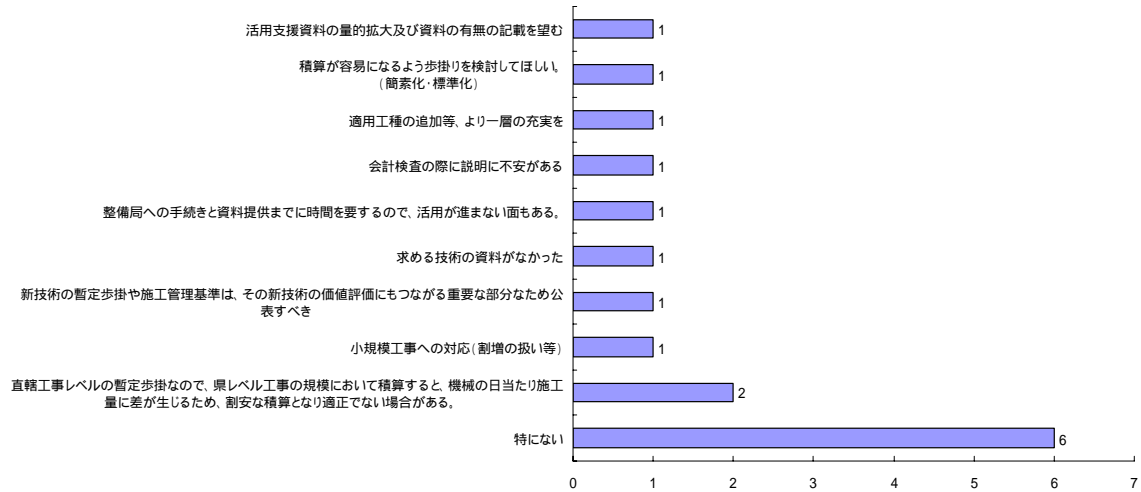
「見積の妥当性判断」、「類似工法の比較積算に利用」、「会計検査対応」の回答。



N=5

問．活用支援資料（暫定歩掛、特記仕様書作成例及び施工管理基準（案））を使
いづらかった点はありませんか？（自由回答）

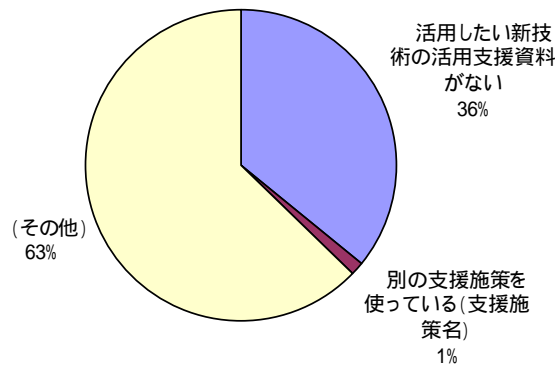
「直轄工事レベルの暫定歩掛なので、県レベル工事の規模において積算す
ると、機械の日当たり施工量に差が生じるため、割安な積算となり適正で
ない場合がある。」などの回答。



N=16

問．活用支援資料（暫定歩掛、特記仕様書作成例及び施工管理基準（案））を使わない理由は何ですか？（選択式）

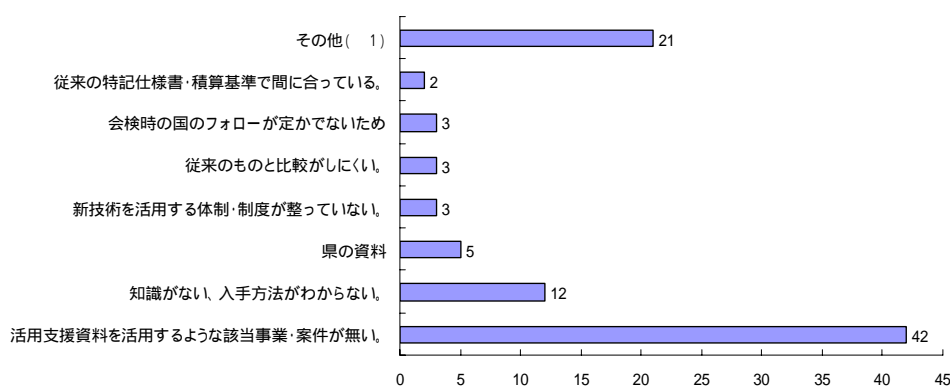
「活用したい新技術の活用支援資料がない」が約4割。



N=145

問．上記設問で「その他」の場合、具体的にどのようなメリットですか？（自由回答）

「活用支援資料を活用するような該当事業・案件が無い。」が多く、次いで、「知識がない、入手方法がわからない。」



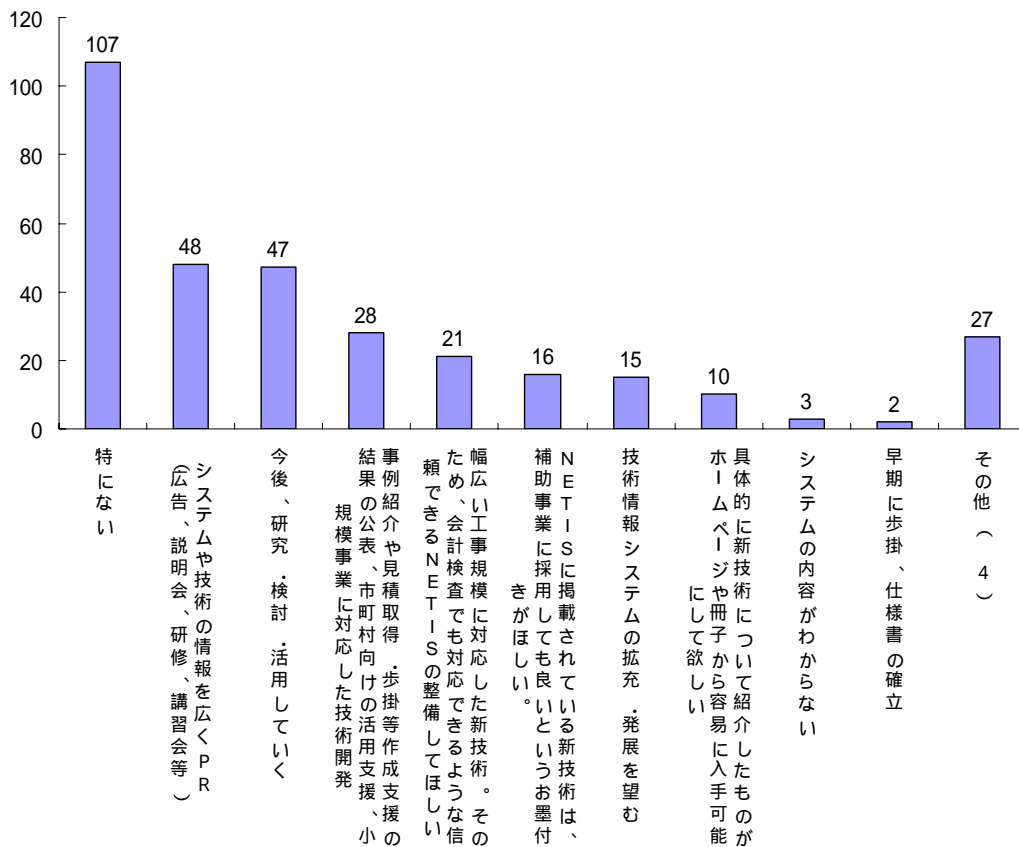
N=91

1 「特になし」やその他少数意見。

新技術の活用促進に関する全般的な意見、要望について

問．新技術の活用促進に関するご意見、ご要望をお聞かせください。
 (自由回答)

「システムや技術の情報を広くPR(広告、説明会、研修、講習会等)が必要」、「今後、研究・検討・活用していきたい」といった意見が多い。



1 少数意見。

N=324